1．構想策定の背景・目的

- 本町では、平成 27 年度に「第二次越前町総合振興計画」、「越前町人口ビジョン」及び「越前町総合戦略」を策定し、将来的・長期的な人口減少を見据え、その克服に向けた具体的な施策・事業を位置づけています。
- 本町の最上位計画であり、まちづくりの総合的指針となる「第二次越前町総合振興計画」では、リーディングプロジェクトとして、①快適居住プロジェクト、②人財育成プロジェクト、③仕事応援プロジェクト、④観光交流プロジェクトの 4 つを掲げています。
- 「観光交流プロジェクト」では、「交流拠点施設（プラントピア・越前陶芸村・道の駅「越前」・織田劔神社）の再整備を推進し、交流人口の増加を図る」ものとしており、老朽化が進む交流拠点施設の再整備や集客拡大のための施策に関する検討が重要な課題となっています。
- これらの背景を踏まえ、①朝日地区（福井総合植物園プラントピア、越知山）、②宮崎地区（越前陶芸村）、③越前地区（道の駅「越前」、越前岬水仙ランド）、④織田地区（織田劔神社、悠久ロマンの杜）の各地区における交流拠点施設及びその周辺を対象に、再整備方針を検討・立案し、基本構想としてとりまとめることで、交流人口の増加を図ることを目的とします。